

What We Deliver to Society

グループ経営理念

安心して快適なくらしのため
エネルギーの未来を切り拓く

Mission

Vision

Values

- 安全最優先
- 責任の貫徹
- お客様のために
- 変革への挑戦

GX

Vision

「安全で持続可能な社会の担い手」をめざす

Destination

GX推進と福島責任の貫徹を両立する

TEPCOの持続可能な成長

復興と廃炉を
推進する

経済成長への貢献

デジタル需要を取り込み
日本の成長を支える

脱炭素への貢献

カーボンニュートラルと
エネルギー自給率向上を実現する

安定供給

GX・DX等に対応した
安定供給の実現

福島責任の貫徹

About This Report

東京電力ホールディングス株式会社
代表執行役社長

小早川 智明



Dear Stakeholders,

「TEPCO統合報告書2026」(以下、本報告書)では、これまでと同様に、めざすVisionの実現に向けた3つのマテリアリティについて、それぞれ章立てする構成としており、財務情報と非財務情報を統合思考に基づいて経営戦略に組み込むという、TEPCOグループの経営の意思を反映しています。また、IFRS S1、S2号、そしてサステナビリティ開示基準(SSBJ基準)を踏まえ、各章では極力「ガバナンス」「戦略」「リスク管理」「指標と目標」の4つの柱で構成するように努めました。

さらに、ステークホルダーの皆さまからお寄せいただいている関心事項等をもとに、本報告書では以下の点について、開示充実を図りました。

- TEPCO GX
- DX戦略
- コーポレートガバナンス 等

監督側と執行側が連携を図り、議論を重ねて本報告書を制作いたしました。主要な非財務情報は、第三者評価機関の保証を取得しています。私は本報告書の制作プロセスが誠実であり、記載内容が正当であることを表明いたします。TEPCOグループは、今後もステークホルダーの皆さまとのエンゲージメントを大切にしていまいります。

TEPCO 統合報告書2026

報 告 期 間: 2025年4月～2026年3月
(上記期間以外の重要な情報についても一部報告しています)

報 告 対 象: TEPCOグループ連結63社
(上記以外の重要な範囲についても一部報告しています)

発 行 時 期: 2026年9月

次回発行予定: 2027年9月

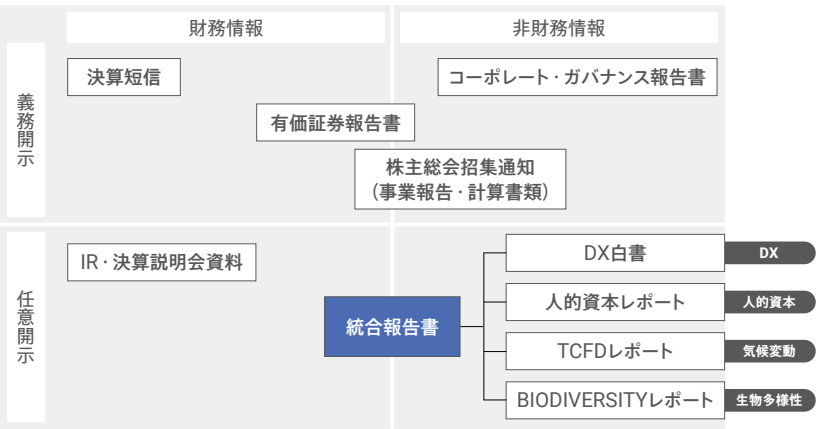
将来見通しの記述について

本報告書にある計画、戦略、業績予想等に関する記述は、記述した時点で当社が入手できた情報に基づくものです。これらの予想・予測には、当社を取り巻く経済情勢、競合環境、関連法規、事業開発計画、為替レート等の不確実な要素が含まれており、これらの予想・予測を覆す潜在的なリスクが顕在化する可能性があります。したがって、将来の実際の業績・事業環境等が本報告書の記述と異なったものとなる可能性があることをお含みおください。

参照したガイドライン等

IFRS財団「国際統合報告フレームワーク」
IFRS財団「SASB Standards」
GRI「GRI Standards」
SSBJ「サステナビリティ開示基準」
TCFD提言、TNFD提言
経済産業省「価値協創ガイダンス 2.0」

開示報告書等 一覧



Contents

Introduction

- 1 About This Report
- 2 Contents
- 3 Who We Are

Vision

- 4 社長メッセージ
- 8 CFOメッセージ
- 11 第五次総合特別事業計画
- 12 価値創造プロセス
- 13 マテリアリティ

Materiality 01

GXによるサステナビリティの実現

戦略

- 18 TEPCO GX
- 20 迅速かつプッシュ型の電力供給
- 23 脱炭素電源の確保・カーボンニュートラルの実現
- 30 安定化等の多様なニーズに応じた料金メニューの提供

気候関連

- 32 ガバナンス
- 33 リスクと機会
- 34 指標・目標

Materiality 02

事業基盤の強化

- 37 財務戦略
- 40 DXと情報・システムセキュリティ
- 45 人的資本、社会・関係資本
- 58 自然資本
- 60 知的資本

Materiality 03

復興と廃炉の推進

- 63 賠償・復興
- 65 廃炉

Corporate Governance

- 73 会長メッセージ
- 76 取締役会の実効性評価
- 77 取締役会と法定3委員会
- 78 取締役一覧
- 80 報酬制度
- 81 ガバナンス強化の取り組み
- 82 取締役対談
- 85 グループ事業運営の再構築・強化
- 86 コンプライアンス
- 87 リスク評価
- 88 原子力ガバナンス

Our Business

- 91 基幹事業会社
- 93 JERAの挑戦
- 94 海外事業

Data Section

- 95 東京電力グループ経営理念
- 96 財務情報
- 102 株式情報
- 103 At a Glance
- 104 ESG情報
- 113 社外からのESG評価

トップマネジメントの考えや 経営方針について



P4

社長メッセージ

2025年度の振り返りと、今後のTEPCOグループの事業の展望、福島への思い、そしてエネルギー事業者としての使命をお伝えします。



GXに向けた戦略と 気候関連の取り組み



P16

GXによるサステナビリティの実現

電力事業を取り巻く事業環境の変化を踏まえた、GXに向けたTEPCOグループの成長戦略や、新たに設定したGHG削減目標をお伝えします。



福島第一原子力発電所の 現状と取り組み



P65

廃炉

「廃炉中長期実行プラン」に基づく福島第一原子力発電所の廃炉作業の最新状況と、廃炉作業を推進する体制をお伝えします。



経営の健全性確保に向けた TEPCOのガバナンス



P73

会長メッセージ

6月に就任した取締役会長の横尾から企業価値向上に向けた抱負をお伝えします。



P82

取締役対談

CFO経験を持つ社外取締役の内田と、取締役兼CFOの山口が、TEPCOの現在と未来を語り合いました。

Who We Are

TEPCOグループは、日本最大級の電力需要を支える事業基盤と、くらしや産業をつなぐ強靱なネットワークを有しています。
安定供給と脱炭素化を推進し、福島への責任を果たしながら、エネルギーの未来を切り拓いていきます。



基幹事業会社とは、東京電力フュエル&パワー、東京電力パワーグリッド、東京電力エナジーパートナーおよび東京電力リニューアブルパワーの4社

Scale of Demand

日本最大級の需要を支える事業基盤



Network Platform

首都圏のくらしや産業をつなぐ、強靱な電力ネットワーク



1需要家当たり年間停電影響回数 (SAIFI)



Energy Transition

脱炭素を支える大規模な電源基盤



原子力発電設備容量



Corporate Foundation

社会インフラを支え、変革を実行する事業・人財基盤



※1 東京電力グループ5社計(東京電力ホールディングス、東京電力フュエル&パワー、東京電力パワーグリッド、東京電力エナジーパートナー、東京電力リニューアブルパワー)試験合格(資格未取得)者を含む
※2 第一種電気主任技術者、エネルギー管理士(熱・電気合計)、一級建築士、原子炉主任技術者